## 資料1-2

平成 年 月 日

　地球環境学舎長 殿

博士学位論文の予備検討願

　このたび、博士（地球環境学）の学位論文を取りまとめたく、博士学位論文（未定稿）2通を提出いたしますからご検討くださるようお願いいたします。

論文題目 （外国語の場合はその和訳を（ ）を付して併記すること｡）

予備検討出願者

（ふりがな）

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 男・女

　　　学生番号（在学中の学生のみ）

地球環境学舎 専攻　博士後期課程

平成 年 月 進学・編入学

平成 年 月 単位修得及び研究指導認定（見込み・退学・退学見込み）

住 所 〒 　　－

連絡先 市外局番（ ） － 内線 番

　　　E-mail

指導教員氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　分野名

※博士課程教育リーディングプログラム修了予定者：　□　該当する　・　□　該当しない

該当者は、リーディングプログラムの修了審査願（写）を併せて提出して下さい。

## 資料 4（課程博士用）

　　　 平成　　年　　月　　日

　　　地球環境学舎長 　殿

地球環境学舎　　　　　　　　専攻

博士後期課程　　　年　　　月編入学・進学

　　　 氏名 　　　　 　 印

　　 （記名押印は自筆署名をもってかえることができる｡）

学 位 論 文 審 査 願

　このたび博士（地球環境学）の学位を受けたく以下の書類を提出いたしますので審査くださるようお願いいたします。

1. 学位論文審査願 1通（資料4参照・所定の用紙）
2. 学位論文 3通　※但し調査委員数により通数の変更有
3. 学位論文電子データ（表紙を含む全文） 1個　※DVD-Rに保存したもの
4. 論文目録 5通＜様式1＞※但し調査委員数により通数の変更有
5. 履歴書 6通＜様式2＞※但し調査委員数により通数の変更有
6. 共著者同意書（必要に応じて提出）＜様式3＞ 本紙1通　写3通

※但し調査委員数により（写）通数の変更有

1. 博士学位論文の公表方法について＜様式4＞

紙媒体　1通及び電子データ　1個　　※③と同じDVD-Rに保存したもの

1. 上記②の要約データ　　　 電子データ　1個　　※③と同じDVD-Rに保存したもの

　　　　＊⑧については、学位論文のインターネット公表時に要約公表することを申請する場合のみ。

1. 知的財産権等の権利処理について確認した書類
2. 研究公正チュートリアル受講修了証＜様式5＞

**＜様式1＞**

論　　文　　目　　録

主　　論　　文

1．題　　　　　　目　　○○○○○○

（外国語の場合は日本語訳を付記する。

提出論文の題目と一致していること。）

2．公表の方法・時期

　　第○編第○章　　○○○○○○

　　　　　　　　　　　（外国語の場合は日本語訳を付記する。）

　　○○年○月発行

　　○○○○○第○巻第○号○○頁に掲載

（学術雑誌名等）

【注】論文目次の題目と公表題目とが異なる場合は、その題目（公表題目）に※

印をつけ、（　）を付して記載する。

　　他の部分の公表の方法・時期は未定

（一部未発表の部分がある場合）

3．冊　　　　　　数　　1冊

参　考　論　文

　　な　　し

　　平成　　年　　月　　日

　　　　　　　　学位授与申請者

　　　　　　　　　　　氏　　名

。

**＜様式2＞**

平成○年○月○日

履　　　歴　　　書

本　　籍　　地　（都道府県名のみ記載）

現　　住　　所　〒

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ふりがな

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　氏　　名

　　　 （漢字圏の外国人は英文表記も記入）

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　○年○月○日生（外国人は西暦で記入）

学　　　　　歴

昭和○年○月○日　　○○高等学校卒業（旧制の卒業生は中学校卒業から）

昭和○年○月○日　　○○大学○○学部○○学科入学

昭和○年○月○日　　同　上　卒　業

平成○年○月○日　　京都大学大学院地球環境学舎○○専攻修士課程入学

平成○年○月○日　　同　上　修　了

平成○年○月○日　　京都大学大学院地球環境学舎○○専攻博士後期課程進学／編入学

平成○年○月○日　　同課程所定の単位修得及び研究指導認定見込み（退学）

職　　　　　歴

平成○年○月○日　 （採用、配置換、退職等月日順に記載すること。）

平成○年○月○日　　○○○○現在に至る

研　　究　　歴

平成○年○月○日　　○○○○において○○○○研究に従事。（平成○年○月○日まで）

平成○年○月○日　　○○○○研究員として○○○○に従事。（平成○年○月○日まで）

賞　　　　　罰

な　　　し

（注）学歴・職歴・研究歴・賞罰の年月日は順を追って、正確に、詰めて記入すること。

　　　また、該当事項のない場合は「なし」と記入すること。

※　この注意事項は提出する際、削除して提出すること。

**＜様式3＞**

共　著　者　同　意　書

学位申請者

　　氏　　　　名

　　現在の所属・職名

　　論文（著書）公表時の所属・職名

論文（著書）名

共　著　者

雑誌名（発行所）※

上記論文（著書）及び研究における学位申請者と共著者各々の役割

本論文（著書）を申請者　　　　　　　　　　　　　　　　　　学位申請のための主論文の公表論文とすること及びインターネット公表されることに同意します。また、自らの学位申請に使用しないことを誓約いたします。

氏　　　　名　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　現在の所属・職名

　　　　論文（著書）公表時の所属・職名

（注）発行年月を明記すること。また、雑誌については、巻、号、頁も明記すること。

　　　共著者の氏名の項は自署、捺印のこと。日本国籍以外の場合、自署のみで可とする。

　　　※この注意事項は削除して提出すること。

**＜様式5＞**

　　　　年　　月　　日

研究公正チュートリアル受講修了証

Certificate of Tutorial for Research Integrity

指導教員

職　　　 名：

氏名（自著）：

研究公正の基本に関し、以下のとおり、対面型チュートリアルを受講したことを証明します。

受講生

専攻： 学年：

氏名：

チュートリアル

面談日：

チュータ※：

同時に面談を受けた人数（3名以下）： 名

内容※※：

※ チュータは、原則として指導教員としてください。教育効果を期待して、ポスドク等をチュータとすることもできますが、その場合は、内容の適切さの確認を指導教員が行ってください。

※※ 「内容」については、「チュートリアル推奨手順例」を基本として、例えば、下記のように記載してください。

・チュートリアル推奨手順に従って実施した

・テキストを熟読の上、チュータが理解度の確認を行った、等

**チュートリアル推奨手順例**

1）チュータ、受講者の双方が日本学術振興会「科学の健全な発展のために－誠実な科学者の心得－」

<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html> を熟読

2）テキストの内容を受講者が要約説明

3）チュータが受講者に対して、要約説明の内容についての質疑を行う

4）当該分野で特に問題となる箇所、当該分野の慣習等について議論する

**＜様式6＞**

*※学位記に記載する氏名に関して必要がある場合は、提出してください。*

平成　　年　　月　　日

京都大学総長　殿

　　　　氏　名 　 印

学位記に記載する氏名について

学位記に記載する氏名は、下記の「前戸籍氏名・現戸籍氏名・通称氏名・前戸籍氏名併記・通称氏名併記」（該当するものに○）を使用することを申請いたします。

記

・ 前戸籍氏名、現戸籍氏名または通称氏名

・前戸籍氏名または通称氏名と、現戸籍氏名（外国籍の者は住民票に記載された本名）の併記

現戸籍氏名 　　　　　　　　　　 （前戸籍氏名　　　　　　　　　　　　 ）

　　　現戸籍氏名 　　　　　　　　　　　　（通称氏名　　　　　　　　　　　　 ）

　　　（本名）

注）本様式は、学籍氏名とは異なる氏名を使用したい場合のみ提出してください。

現戸籍氏名をそのまま学籍氏名に使用している方は、提出の必要はありません。